

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-91	高 等 学 校	国 語	古 典 探 究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
143 筑摩	古探 715 / 古探 716	古典探究 古文編・漢文編		

1. 編修の基本方針

● 教科書の理念

この教科書は、「教育基本法」「学校教育法」の規定や理念を踏まえ、特に以下の点に留意して編修しました。

- ①豊かな人間性・創造性を身につけさせる。
- ②平和で民主的な国家及び社会の形成者たる人物を育成する。
- ③社会において果たさなければならない使命を自覚させる。
- ④それぞれの個性に応じた進路を決定するのに必要な一般的な教養を高める。
- ⑤社会について、広く深い理解と健全な批判力を養う。
- ⑥社会の発展に寄与する態度を養う。

● 教材の選定と配列

教育基本法第2条の1～5号に示された教育の目標を達成するために必要な教材を精選して掲載しました。教材の選定と配列にあたっては、次のような点に意を用いました。

- ①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしました。
- ②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしました。
- ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができるようにしました。
- ④教材がたがいに有機的に繋がり、学習が進むにつれ、国語の資質および能力が的確に身についていくことを意識して教材を配列しました。
- ⑤「思考力・判断力・表現力」の「読むこと」に即した教材を選び、深く読む力を身に付けることができるようにしました。また言語活動例として「実践」を適宜設け、効果的に言語能力を高めることができるよう配列しました。

● 学習を支える工夫

各単元および教材を通じて、高校生の資質・能力を高め、主体的・対話的で深い学びへと導くために、次のような点に意を払いました。

- ①分冊型・二部構成の編集：多様化した指導の実態を考慮して「古文編」「漢文編」の二分冊とし、学習者の発達段階を考慮して両編とも、第一部・第二部に分けて、教材を配置しました。
- ①単元の目標：第一部・第二部の冒頭に、それぞれの単元を通じて身につけたい資質・能力を端的に示しました。
- ②視点：教材の冒頭に、身につけたい資質・能力について、教材の着目すべき点を掲げました。
- ③学習の手引き：教材の末尾に「理解」「表現」を設け、資質・能力を身につけるにあたって、教材のどのような点を活用することができるかを明示しました。
- ④実践：言語能力を高め、主体的・対話的で深い学びへと導く具体的な言語活動を適宜示しました。
- ⑤デジタルコンテンツ：学習に役立つデジタル・コンテンツを適宜用意いたしました。

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条第一号から第五号との対応を下記に示します。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
古文編・第一部		
1) 生き生きと描かれた人々 ——説話	説話文学を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができました。(第1号)	p12～19
2) 歌に思いを託す ——物語(一)	歌物語を通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することができるようにしました。(第5号)	p20～39
3) 豊かな感受性、深まる思考 ——随筆(一)	「枕草子」などの随筆を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。(第2号)	p40～51
4) 人と人が織りなす世界 ——物語(二)	平安時代に書かれた物語を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p52～75
5) 体験を語る ——日記	平安時代に書かれた日記文学を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p76～85
6) 人と社会を見つめる ——随筆(二)	中世に書かれた随筆を通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第3号)	p86～101
7) 歴史を語る——物語(三)	歴史物語を通して、生命を尊ぶ態度を養うとともに、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することができるようにしました。(第4号、第5号)	p102～123
8) 身体とことば——芸能 《実践》芸能の中に生きる古典文学を味わおう	能などの伝統芸能を通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することができるようにしました。(第4号、第5号)	p124～133
9) 定型の力——和歌・歌謡・俳諧	詩歌を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p134～150
古文・第二部		
1) 市井の人々の姿——説話	説話文学を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。(第2号)	p154～159
2) 宮廷社会に生きる——随筆	枕草子に描かれた宮廷社会を読むことを通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)	p160～167

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
3) 長編の魅力——物語（一）	「源氏物語」などの長編物語を読むことを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することができるようにしました。（第5号）	p168～205
4) 自己を語る——日記	日記文学を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。（第2号）	p206～217
5) 文学を論じる——評論（一）	古典における文学評論を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。（第1号）	p218～229
6) 歴史を紡ぐ——物語（二）	歴史文学を学ぶことを通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第3号）	p230～251
7) 新たな表現を模索する——俳論・俳文	近世の俳論・俳文を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。（第1号）	p252～261
8) 近世の社会と人間——小説	近世に書かれた小説を通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第3号）	p262～271
9) 本質を探る——評論（二）	近世に書かれた評論文を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。（第2号）	p272～279
10) 文学の生まれる場所——伝承《実践》二つの伝承を読み比べて、表現の違いについて考えよう〈まとめ〉古文の表現	「日本書紀」「古事記」を読み比べ、また古文の表現の変遷をたどることを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することができるようにしました。（第5号）	p280～294
漢文編・第一部		
1) 創成と典故——故事成語	故事成語を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。（第1号）	p12～17
2) 生き方の表明——文章（一）	漢文の名文を通じて個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。（第2号）	p18～27
3) 韻文の表現——近体詩	漢詩を通じて伝統と文化を尊重し、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにしました。また、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。（第4号、第5号）	p 28～35

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
4) 言動の記録——史伝	史伝を通して、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができました。(第3号)	p 36 ~ 53
5) 物語の創造——小説	漢文の小説を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができました。(第1号)	p 54 ~ 61
6) 説得の技法——文章 (二)	「説」という文体を通して、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができました。(第3号)	p 62 ~ 71
7) 読み継がれる思想——儒家	儒家の思想を学ぶことを通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができました。(第3号)	p 72 ~ 84
漢文・第二部		
1) 評価する視点——故事成語	故事成語を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができました。(第1号)	p 88 ~ 93
2) 主張と文体——文章 (一)	漢文で書かれた名文や日本で書かれた漢文の文章を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるとともに、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができました。(第1号、第5号)	p 94 ~ 105
3) 韻文の伝統——古体詩	古体詩を学ぶことを通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができました。また、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができました。(第1号、第4号)	p 106 ~ 119
4) 言動の真意——史伝	古代中国や日本で書かれた漢文の史伝を通して、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができました。また、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができました。(第3号、第5号)	p 120 ~ 139
5) 物語の展開——小説	漢文の小説を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができました。(第1号)	p 140 ~ 147
6) 心情の表出——文章 (三)	漢文の名文を読むことを通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができました。(第1号)	p148 ~ 158

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
7) 思想の展開——諸子	諸子の思想を学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。また、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第2号、第3号)	p160～176

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・「言語文化」の学習内容の成果を発展拡充させて、「古典探究」でも豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うために、教材および「実践」などの言語活動におけるテーマや内容に意を用いました。(学校教育法第51条第一号)
- ・「実践」における言語活動および「読書案内」で紹介した書籍や、コラムを通して、社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させることに意を払いました。(学校教育法第51条第二号)
- ・複数の資料を比較して読むことにより、個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うようにしました。(学校教育法第51条第三号)
- ・教材にはユニバーサル・フォントを用いて、多くの人の読みやすい紙面づくりに配慮しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時間数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103—91	高 等 学 校	国 語	古典探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
143 筑摩	古探 715 / 古探 716	古典探究 古文編・漢文編		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則および「古典探究」に掲げられた目標を効果的に達成するために、特に以下の点に留意して編集しました。

- ①**育成したい資質・能力を明確化した単元構成** 単元ごとに「単元の目標」を示し、生徒が各単元を通じてどのような資質・能力を身につけることができるのか、見通しを立てたり、学習後の振り返りを行ったりすることができるようにしました。また、掲載した教材にはそれぞれ冒頭に「視点」を示し、各教材を通じて身につけたい「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」を意識的に学習できるようにしました。
- ②**発達段階に応じた教材を厳選** 生徒の心身の発達段階を十分に考慮して、「言語文化」からの移行が円滑にできるよう、親しみやすい教材から、古典文学へのより深い理解を促す教材まで厳選して掲載しました。また、教材として適度な長さで、なおかつ奥行きのある文章を選びすぎりました。
- ③**「主体的・対話的で深い学び」の実現を促す「実践」** 言語活動例として適宜「実践」を示し、「主体的・対話的で深い学び」を行うことができるようにしました。
- ④**学習者の自学自習に便利な工夫** 教材の理解を助けるために、脚問を付して、文脈や知識を的確に捉えることができるようにしました。また手引きとして「理解」「表現」を設け、教材の内容や目的を正確に捉えることができるようにしました。各見開きに重要古語（古文）・句法（漢文）を付し、生徒の知識を増やすことができるように工夫しました。
- ⑤**読書指導の充実** 「学びに向かう力、人間性」を支える工夫として、読書の意義を理解できるように適宜「読書案内」を設けました。
- ⑥**誌面の工夫** 全体に見やすいレイアウトとなるよう配慮するとともに、学習の効率化と活性化を図るために多色刷りを用い、必要な図版や地図などを適宜カラーで掲載しました。また、多くの生徒の読みやすさに配慮して、ユニバーサル・デザイン・フォントを用いました。
- ⑦**デジタル・コンテンツ** 学習を深める手立ての一つとして、教材に関するインターネット上の情報を適宜示し、二次元コードを用いて、情報を示したウェブページを掲載しました。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
古文編・第一部					
1) 生き生きと描かれた人々——説話	【宇治拾遺物語】袴垂、保昌にあふこと・獵師、仏を射ること 【古今著聞集】刑部卿敦兼の北の方	(1) ア, イ, ウ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ	p12 ～ 19	4
2) 歌に思いを託す——物語 (一)	【伊勢物語】初冠・月やあらぬ・行く螢・狩りの使ひ・渚の院・小野の雪・とみの文・つひにゆく 【大和物語】姨捨・鹿の声	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ	p20 ～ 39	4
3) 豊かな感受性、深まる思考——随筆 (一)	【枕草子】春は、あけぼの・野分のまたの日こそ・文ことばなめき人こそ・世の中になほいと心憂きものは・すさまじきもの・中納言参りたまひて・二月つごもりごろに <コラム> 敬語法 <読書案内>	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ	p40 ～ 51	4
4) 人と人とが織りなす世界——物語 (二)	【堤中納言物語】虫めづる姫君 【落窪物語】落窪の君 【源氏物語】光源氏の誕生・飽かぬ別れ・廢院の怪・若紫の君	(1) ア, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ	p52 ～ 75	5
5) 体験を語る——日記	【更級日記】継母との別れ・源氏の五十余巻 【蜻蛉日記】嘆きつつ・道綱鷹を放つ	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ	p76 ～ 85	4
6) 人と社会を見つめる——随筆 (二)	【徒然草】大事を思ひ立たむ人は・世に語り伝ふること・筑紫にながしの押領使など・これも仁和寺の法師・九月二十日のころ・久しく隔たりて会ひたる人の 【方丈記】安元の大火・養和の飢饉	(1) ア, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ	p86 ～ p101	4
7) 歴史を語る——物語 (三)	【大鏡】雲林院にて・花山院の出家・公任、三船の誉れ・南の院の競射 【平家物語】忠度の都落ち・能登殿の最期 【太平記】千早城の戦い	(1) ア, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p102 ～ 123	4
8) 身体とことば——芸能	【風姿花伝】二十四、五 【難波土産】虚実皮膜の間 【謡曲】忠度 【実践】芸能の中に生きる古典文学を味わおう <コラム> 日本の芸能	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p124 ～ 133	4

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
9) 定型の力——和歌・歌謡・俳諧	万葉の歌・王朝の歌・中世の歌・近世の句 【おらが春】愛児さと	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p134 ～ 150	4
古文編・第二部					
1) 市井の人々の姿——説話	【今昔物語集】驚にさらわれた赤子・賀茂の祭りを見物する翁	(1) ア, ウ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p154 ～ 159	3
2) 宮廷社会に生きる——随筆	【枕草子】里にまかでたるに・上にさぶらふ御猫は	(1) ア, ウ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 160 ～ 167	4
3) 長編の魅力——物語（一）	【源氏物語】車争ひ・心づくしの秋・母子の別離・暁の雪・萩のうは露・霧の中のかいま見・髪の香『源氏物語』の虚構（鈴木日出男）	(1) ア, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p 168 ～ 205	5
4) 自己を語る——日記	【紫式部日記】土御門殿の秋・和泉式部と清少納言 【和泉式部日記】夢よりもはかなき世の中を 【建礼門院右京大夫集】なべて世の 【十六夜日記】関の藤川	(1) ア, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	Aア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 206 ～ 217	5
5) 文学を論じる——評論（一）	【古今和歌集】やまとうたは・六歌仙 【俊頼髓脳】連歌 【無名抄】おもて歌 【毎月抄】心と詞 【無名草子】紫式部	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 218 ～ 229	4
6) 歴史を紡ぐ——物語（二）	【大鏡】菅公配流・宣耀殿の女御・中宮安子の嫉妬・肝試し・道長・栄華への第一歩 【増鏡】後鳥羽院・隠岐配流	(1) ア, ウ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 230 ～ 251	4
7) 新たな表現を模索する——俳論・俳文	【野ざらし紀行】千里に旅立ちて 【去来抄】行く春を・岩鼻や 【いそのはな】北寿老仙をいたむ 【鶉衣】奈良団扇	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 252 ～ 261	4
8) 近世の社会と人間——小説	【西鶴諸国ばなし】忍び扇の長歌 【雨月物語】浅茅が宿 〈コラム〉近世のことは	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p262 ～ 271	4
9) 本質を探る——評論（二）	【三冊子】不易流行 【玉勝間】師の説になづまざること 【源氏物語玉の小櫛】もののはれ論	(1) ア, ウ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p272 ～ 279	4

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
10) 文学の生まれる場所——伝承	【古事記】倭建命 〈参考〉【日本書紀】日本武尊の死 【実践】二つの伝承を読み比べて、表現の違いについて考えよう 〈まとめ〉古文の表現 〈コラム〉上代のことば	(1) ア, イ, ウ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p280 ～ 294	5
漢文編・第一部					
1) 創成と典故——故事成語	知音 (呂氏春秋)・曳尾於塗中 (莊子)・先從隗始 (戦国策)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p12 ～ 17	4
2) 生き方の表明——文章 (一)	漁父辞 (屈原)・桃花源記 (陶淵明集)・春夜宴桃李園序 (李白)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 18 ～ 27	4
3) 韻文の表現——近体詩	獨坐敬亭山 (李白)・登樂遊原 (李商隱)・九月九日憶山東兄弟 (王維)・芙蓉樓送辛漸 (王昌齡)・楓橋夜泊 (張繼)・野望 (王績)・旅夜書懷 (杜甫)・八月十五夜、禁中獨直、對月憶元九 (白居易)・遊山西村 (陸游)・聞旅雁 (菅原道真)・即事 (新井白石)・無題 (夏目漱石)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 28 ～ 35	5
4) 言動の記録——史伝	天道是邪、非邪 (史記)・鴻門之會 (史記)・四面楚歌 (史記)・稲葉一徹 (近古史談)・ 〈コラム〉中国の史書	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p 36 ～ 53	5
5) 物語の創造——小説	鶴之報恩 (搜神記)・売鬼 (搜神記)・王昭君 (西京雜記)・〈参考〉「王昭君」(李白)・「王昭君」(大江朝綱)・「王昭君をよめる」(赤染衛門) 【実践】同じテーマの作品を比較し、それぞれの特徴を理解しよう	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p 54 ～ 61	4
6) 説得の技法——文章 (二)	師説 (韓愈)・捕蛇者説 (柳宗元)・愛蓮説 (周敦頤)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 62 ～ 71	4
7) 読み継がれる思想——儒家	論語—それぞれの生き方・人無濟不善 (孟子)・四端 (孟子)・性悪 (荀子) 〈コラム〉性善説と性悪説・ 〈読書案内〉	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 72 ～ 84	4
漢文・第二部					
1) 評価する視点——故事成語	断腸 (世説新語)・螻蛄の斧 (莊子・淮南子)・愚公移山 (列子)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p88 ～ 93	3

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
単元名	教材名	知識・技能	思考力・判断力・表現力		
2) 主張と文体 ——文章 (一)	詩経大序 (詩経) 【参考】古今和歌集真名序 (古今和歌集) 【実践】文学論を比較し、共通点や相違点を論述しよう 論文 (曹丕)・五柳先生伝 (陶淵明)・前赤壁賦 (蘇軾)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p 94 ～ 105	4
3) 韻文の伝統 ——古体詩	桃夭 (詩経)・秋風辞 (武帝)・薤露 (楽府詩集)・ 飲酒 其五 (陶淵明)・送別 (王維)・漁翁 (柳宗元)・ 石壕吏 (杜甫)・長恨歌 (白居易) 〈コラム〉漢詩のきまり	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 106 ～ 119	5
4) 言動の真意 ——史伝	怒髪上衝冠 (史記)・勿類之交 (史記)・【参考】廉 頗藺相如列伝論贊・国士無双 (史記)・信玄何在 (日 本外史) 〈コラム〉日本人の漢文	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p 120 ～ 139	5
5) 物語の展開— ——小説	離魂記 (太平広記)・人面桃花 (本事詩)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 140 ～ 147	4
6) 説得の技法— ——文章 (二)	前出師表 (諸葛亮)・与微之書 (白氏文集)・傷仲永 (王 安石)	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ	p 148 ～ 159	5
7) 思想の展開— ——諸子	無之用 (老子)・柔之勝剛 (老子)・混沌 (莊子)・ 無用之用 (莊子)・守業・嬰逆鱗 (韓非子)・兼愛 (墨 子)・言と黙 (興膳宏) 〈コラム〉諸子百家	(1) ア, イ, ウ, エ (2) ア, イ, ウ, エ	A ア, イ, ウ, エ, オ, カ, キ, ク	p 160 ～ 176	5

計 140